

国文学

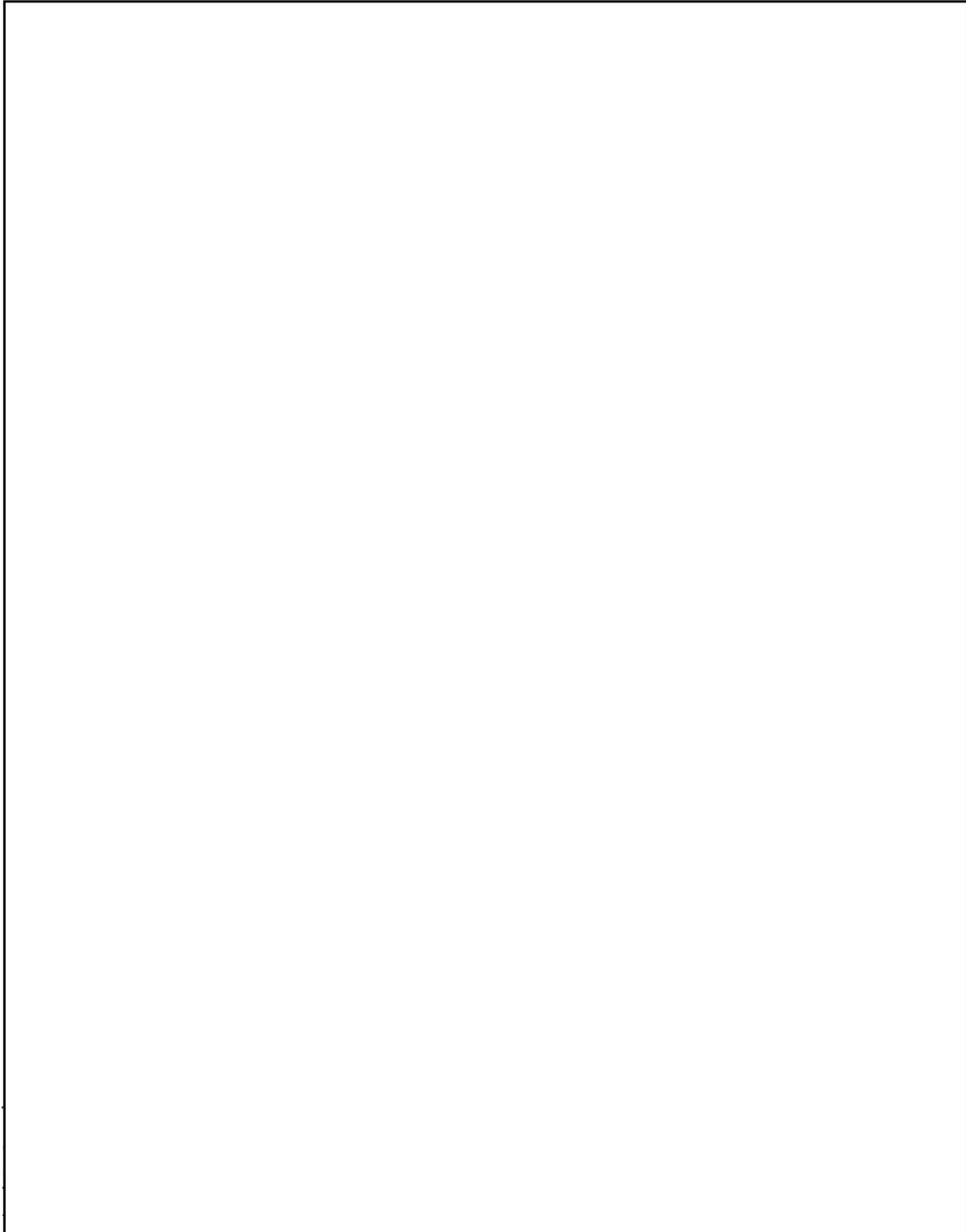
専攻

領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目：第 / 外国語（英語） / 専門科目（ ）

試験時間：（ 90 ）分

次の文章はWilliam H.& Helen Craig McCullough *A Tale of Flowering Fortunes; Annals of Japanese Aristocratic Life in the Heian Period*のintroductionの一節で、『栄花物語』の特質について述べたものである。これを読んで以下の問いに答えよ。



- 問1 下線部 (1) を日本語に訳せ。
- 問2 下線部 (2) を日本語に訳せ。
- 問3 下線部 (3) を日本語に訳せ。
- 問4 下線部 (4) を日本語に訳せ。
- 問5 下線部 (5) を日本語に訳せ。
- 問6 下線部 (6) を日本語に訳せ。
- 問7 二重下線部 (A) について、具体的にどのような点が本文中では指摘されているか、説明せよ。

## 博士前期課程試験問題（国文学）

### 注意

- 解答用紙は四枚（三枚）あります。※主たる専門分野を国文学とする者は四枚、国語学・漢文学とする者は三枚。
- 解答用紙の右端の欄外にそれぞれ国文学（※一、二枚）・国語学・漢文学と、よく分かるように大きく書いて下さい。  
※主たる専門分野を国文学とする者は二枚、国語学・漢文学とする者は一枚。
- 解答は問題別にそれぞれ解答用紙に書いて下さい。国文学、国語学、漢文学の問題の答えを、それぞれ国文学、国語学、漢文学と欄外に書いてある解答用紙に書いて下さい。  
なお、国文学の解答用紙には、右端の欄外に選択した問題の番号を合わせて書き入れて下さい。
- 問題は全部で五枚あります。国文学（三枚）・国語学（一枚）・漢文学（一枚）です。  
試験開始の合図があったら、まず問題が全部そろっているか、確認して下さい。
- 問題用紙も試験終了後、回収しますが、メモ、下書きなどを問題用紙に書くことは差し支えありません。また、選択する問題だけが見やすいように、綴じ目をはずしてばらばらにしても構いません。
- 提出の時は、問題も解答も配布された時と同じく、それぞれ重ねて提出して下さい。問題をばらばらにした場合、元の順序でなくても構いません。

国文学

専攻

領域 (博士前期/修士)・博士後期・前後期共通)

試験科目: 第 外国語 ( ) / 専門科目 (国文学)

試験時間: ( 120 ) 分

□ 次の I 群から三項目、II 群から二項目を選び、それぞれ三行程度で説明せよ。

- |      |          |           |          |         |      |
|------|----------|-----------|----------|---------|------|
| I 群  | a 大伴旅人   | b 『後撰和歌集』 | c 『落窪物語』 | d 後鳥羽上皇 | e 蕉風 |
| II 群 | a 『アララギ』 | b 新感觉派    | c 第三の新人  |         |      |

国文学

専攻

領域 (博士前期/修士・博士後期・前後期共通)

試験科目: 第 外国語 ( ) / 専門科目 (国文学)

試験時間: ( 120 ) 分

三 Ⅰ 次の文章は『無名抄』の一節である。これを読んで後の問に答えよ。

① されりまゝいぢりていふにふしをいひけりまゝに我の

まゝも②あつりていひけりていふにふしをいひけりまゝに我の

如流のまゝいぢりていふにふしをいひけりまゝに我の

恋のまゝに

X へいばあまのまゝに我のまゝに我の

まゝに我のまゝに我のまゝに我のまゝに我の

とて勝命入道ふなをのまゝに我のまゝに我の

ある親あまのまゝに我のまゝに我のまゝに我の

ふまのまゝに我のまゝに我のまゝに我のまゝに我の

いでよまゝに我のまゝに我のまゝに我のまゝに我の

問一 Xの和歌を、濁点を付しながら翻字せよ。

問二 傍線部Yを、濁点を付しながら翻字し、さらに現代語訳せよ。

問三 傍線部①は、どのような歌のことか、説明せよ。

問四 傍線部②について、本文中の歌の場合どのような点が誤りなのか、詳しく説明せよ。

国文学

専攻

領域 (博士前期/修士)・博士後期・前後期共通)

試験科目: 第 外国語 ( ) / 専門科目 (国文学)

試験時間: ( 120 ) 分

Ⅱ 次の文章は武者小路実篤「それから」に就て『白樺』明治四三年三月の一部である。これを読んで後の問に答えよ。

問一 傍線部1について、夏目漱石の活動を踏まえ、具体的に説明せよ。ただし『それから』以降の活動に言及しなくてもかまわない。

問二 傍線部2について、明治四〇年代の文学情勢を踏まえ、具体的に説明せよ。

問三 この文章に表れた武者小路実篤の思想について、彼のその後の活動を踏まえて、具体的に説明せよ。

問四 当時の武者小路実篤の活動はどのように受容されたか、具体的に説明せよ。

Ⅲ 国文学を主たる専攻とする者のみ答えよ。

日本文学の中で病がどのように取り扱われ、作品にどのような効果をもたらしているか、具体的に論ぜよ。  
(韻文・散文・戯曲のいずれを例としてもよい。また一つの作品を論じても、複数の作品を論じてもよい。)

国文学

専攻

領域 ( ~~博士前期/修士~~ ・博士後期・前後期共通 )

試験科目：第 外国語 ( ) / 専門科目 ( 国語学 )

試験時間： ( 120 ) 分

問題一 次の日本語研究に関連する事項・書名・人名についてそれぞれ説明せよ。

ア 連濁

イ 『日本辞書 言海』

ウ アクセント核

エ ラ行変格活用

オ 富士谷成章

問題二 次のア、ウのうち、いずれか一つを選び、答えよ。

ア 品詞の分類法について、研究者によって相違が生じる理由を具体的に論ぜよ。

イ 言文一致体の成立に明治期の文学作品がどのような影響を与えたか、国語学の観点から論ぜよ。

ウ 十八〜十九世紀の日本における欧米の事物概念の翻訳について、その翻訳法の特徴を具体的に論ぜよ。

問題三 「国語学を主たる専門分野とする受験生のみ答えよ」

漢文訓読が日本語に与えた影響について、具体的に論ぜよ。

国文学

専攻

領域 ( 博士前期/修士・博士後期・前後期共通 )

試験科目：第 外国語 ( ) / 専門科目 ( 漢文学 )

試験時間： ( 120 ) 分

問題 〇 次に掲げる詩およびその注を読んで後の問いに答えよ。

虞姬墓

帳下佳人拭淚痕。門前壯士氣如雲。(續) 項羽聞漢軍  
 日漢皆已得楚乎。乃夜起飲帳中。有美人姓虞氏常  
 幸從。乃悲歌慷慨。自為歌曲。美人和之。羽泣下。  
 數行。左右皆泣。於是羽遂上馬。  
 戲下。騎從者百餘人。夜潰圍出。蒼皇不負君主意。獨  
 有虞姬與鄭君。(續) 項羽垓下之敗。虞姬先自刎。鄭君  
名籍。鄭君獨不奉詔。詔拜多籍者。  
 為大夫。而逐鄭君。見鄭當時傳。

(注)

○蒼皇：あわてふためくさま。 ○項籍：項羽のこと。籍は名、羽は字。

○名：(名前を)呼ぶ。

(一) 起承句の注を書き下し文にせよ。

(二) 転結句の注を口語訳せよ。

(三) 詩を書き下し文にし、かつ口語訳せよ。

漢文学を専攻とする者のみ解答せよ。

問題 〇 蘇軾詩の日本に於ける受容について論述せよ。

## 博士後期課程試験問題（国文学）

### 注意

- 問題は全部で四枚あります。古典国文学・近代国文学・国語学・漢文学の四科目です。試験開始の合図があつたら、まず問題が全部そろっているか確認の上、三科目を選び解答しなさい。
- 解答用紙は三枚あります。
- 解答用紙の右端欄外にそれぞれ古典国文学・近代国文学・国語学・漢文学と、よく分かるように大きく書いて下さい。
- 解答は問題別にそれぞれ解答用紙に書いて下さい。古典国文学・近代国文学・国語学・漢文学の問題の答えを、それぞれ古典国文学・近代国文学・国語学・漢文学と欄外に書いて下さい。
- 問題用紙も試験終了後、回収しますが、メモ、下書きなどを問題用紙に書くことは差し支えありません。また、選択する問題だけが見やすいように、綴じ目をはずしてばらばらにしても構いません。
- 提出の時は、問題も解答も配布された時と同じく、それぞれ重ねて提出して下さい。問題をばらばらにした場合、元の順序でなくても構いません。

国文学

専攻

領域 ( 博士前期/修士・博士後期・前後期共通 )

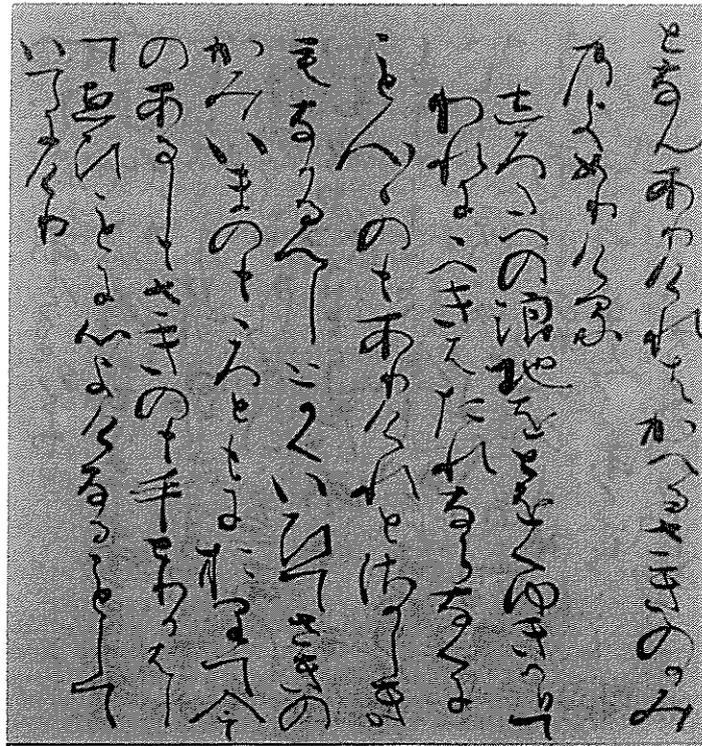
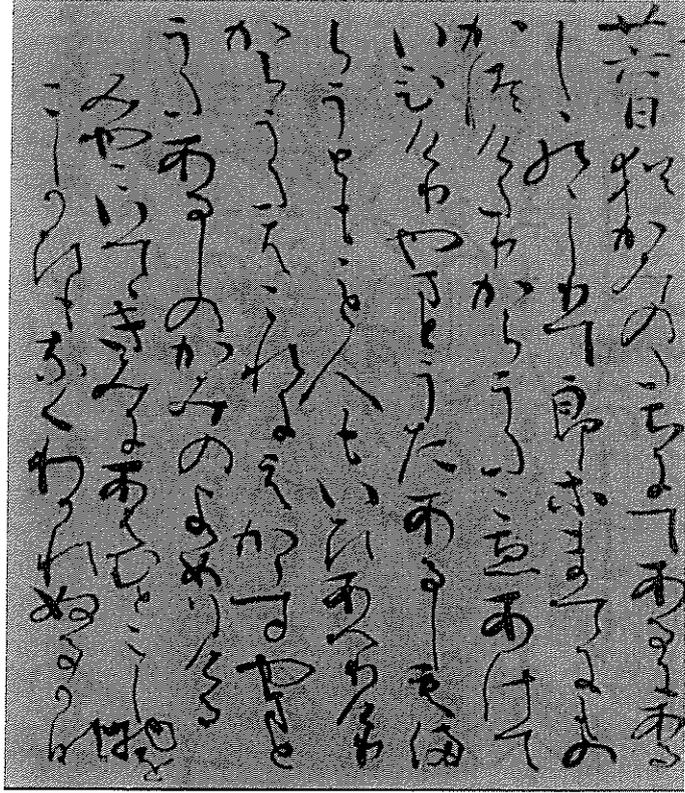
試験科目：第 外国語 ( ) / 専門科目 ( 古典国文学 )

試験時間： ( 120 ) 分

古典国文学

古典国文学を主たる専攻とする者は、次の□・□に答えよ。それ以外の者は、□・□のいずれかに答えよ。

□ 次の文章を読んで、後の問に答えよ。



- 問一 本文中の歌二首をすべて翻字せよ。
- 問二 冒頭から四行目「やまとうた」の前までを現代語に訳せ。
- 問三 一首目の歌が字余りとなっている理由を答えよ。
- 問四 何故、和歌のみを載せて、漢詩を載せなかったのか。その理由を説明せよ。
- 問五 作品名を答えよ。

□ 宗教が我が国の古典文学に与えた影響について、具体例を挙げて説明せよ。

国文学

専攻

領域 ( 博士前期/修士・~~博士後期~~・前後期共通 )

試験科目：第 外国語 ( ) / 専門科目 ( 近代国文学 )

試験時間： ( ) 分

□ 次の文章は菊池寛「此頃の感想」(『改造』昭和五年七月)の一部である。これを読んで後の問いに答えよ。

問一 傍線部1について、なぜそのようにいえるのか、説明せよ。  
問二 傍線部2について、そうした傾向を帯びた作家について、この後の展開も踏まえ、具体的に説明せよ。

□ 「近代国文学を専攻する者のみ答えよ」

近代文学の展開と政治的関心の関わりについて、具体的に説明せよ。

国文学

専攻

領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目：第 外国語（ ） / 専門科目（国文学）

試験時間：（ ）分

問題一 以下のア・イのうち、いずれか一つを選び、答えよ。

ア 日本語における文字表記の特質について、歴史的な観点も交えながら、具体的に論ぜよ。

イ 外国語との接触が日本語の文体に与えた影響について、国語学的な観点から論ぜよ。

問題二 「国語学を主たる専門分野とする受験生のみ答えよ」

文献中に見える言語に関する記述のうち、過誤・訛語・俗用に関する記述を言語史の資料として用いることについて、特に日本語に関する文献を例に取って、具体的に論ぜよ。

国文学

専攻

領域 ( 博士前期/修士

博士後期

前後期共通 )

試験科目：第 外国語 ( ) / 専門科目 (漢文学)

試験時間： ( ) 分

問題 ㊦

次の文章（唐彪『読書作文譜』）を読んで後の問に答えよ。

唐彪曰昔之賢聖不寶珠玉而寶好書故多方積聚有借抄者就其家抄之不令書出門也子孫愚魯者視書如泥沙瓦礫不但輕棄平常易得之書即家傳不可得之書并幼時讀過好書亦且輕賤狼藉至于散失此無他其志氣汚下識見卑陋不知書之有益所以如此不思己雖不能讀書他日子孫或有能讀書者欲求好書不可得矣非財求所能負也亦思之乎

唐彪曰好書極難如得抄刻善本當極愛惜之不可即以此書日常誦習至于毀壞更恐為入盜竊既失則不可復得雖痛惜之無益矣故須抄副本與子弟誦習其原本則深藏之不當聽其可有可無也

問一 傍線部 a 「子孫愚魯」の書籍の取り扱いについて、本文に沿って説明せよ。

問二 傍線部 b 「不思己可得矣」を書き下し文にし、現代語訳せよ。

問三 傍線部 c 「雖痛惜之無益矣」と記す、その理由について、本文に沿って説明せよ。

問四 傍線部 d 「不当可無也」について、いかなる意味であるか説明せよ。

問題 ㊧

「漢文学を専攻とする者のみ答えよ」

「抄（鈔）本」と「刊本」の相違を明らかにし、その文藝界に及ぼす影響の相違についても論じよ。